

建築現場の技学ぶ

鶴崎工業高

【大分】大分市葛木の鶴崎工業高で14日、技能士から工具の使い方や技能検定の実技試験の内容などについて指導を受ける講習があった。



鉄筋を組み立てる生徒

現場で活躍する技能士から実践的な指導を受けることで、生徒の将来の職業選択に生かしてもらおうと同校が実施した。

建築科の2年生39人が参加。生徒は三つのグループに分かれ、県鉄筋工業協同組合と市管工事協同組合

大分合同新聞(R8/7/21)

の技能士計14人から鉄筋や配管の組み立て方、道具の使い方などを教わった。建設業などに関する資格を取得するための予備校「日建学院大分校」の社員の講義もあり、生徒は建設業界の業種や資格の有用性

などを学んだ。広石和真さん(16)は「使ったことのなかった工具の使い方を教えてもらった」。足立ひかりさん(17)は「資格取得のメリットが分かった。家を設計する仕事をやってみたいので、いろんな資格を取得することに挑戦したい」と話した。(野上里菜)

職人から技術を学ぶ 鶴工2年生が講習会



講師の指導を受ける生徒

鶴崎工業高校は14日、建設現場で活躍する配管・鉄筋工などの職人を学校に招き実践技能講習をした。普段の授業では得られない実技を学び、技能職に興味を持ってもらおうと、県鉄筋工事協同組合、大分市管工

事協同組合、日建学院の関係者が講師となり、建築科の2年生40人が講習を受けた。

配管工事では配管の切断や組み立て、鉄筋工事ではベース、柱、梁の組み立て作業などを学び、建設業関

大分建設新聞(R8/7/21)

連資格の種類や必要性などの講義もあった。

講習を受けた渡邊さん(16)は「初めての作業で簡単なところと難しいところがあったが楽しかった。進路を決める幅が広がった」と感想。講師らは「授業にない分野に興味を持ってもらえてうれしい」「受験する生徒には合格に向けてサポートしたい」と話していた。同校では昨年、技能検定配管3級を7人、技能検定3級鉄筋施工を6人が合格している。

協力団体は次の通り。

▽(株)伊藤鉄筋工業、栄友工業(株)、(有)水田鉄筋、(有)古岡鉄筋工業、(有)花田鉄筋工業、鴨川工業(有)、(有)たきお水道、(株)買來設備、(有)大工業、(株)小野設備工業、(株)大分ワコー、(有)高田設備、フジシステム設備(有)、大分市管工事協同組合、協同組合大分管工事センター、日建学院。

(望月徳子)